

令和8年6月25日（木） 9：45～11：45

令和8年度 第2回横山小学校運営協議会

～ 次第 ～

本年度の重点【目指す子供像】
～10の取り組みを通して、目指す子供の姿～
「自他を大切にする子」 「ねばり強く取り組む子」 「主体的に行動する子」

- 1 開催要件（過半数の出席）確認
- 2 会長挨拶
- 3 校長挨拶
- 4 議長の選出（出席した委員の中から互選）
- 5 前回会議録確認
- 6 熟議
 - (1) 少人数児童での学校行事や学校生活の場面における支援について
 - ・光明小2年横山探検において、どのような支援ができるか。
 - ・学習活動を充実させる活動について、どのような支援ができるか。
- 7 報告
 - (1) 読み聞かせへの支援について（市川）
- 8 連絡
 - (1) 次回
開催日時：令和8年10月6日（火） 14：00～16：00（授業参観を含む）
熟議内容：学校評価に関して

令和 8 年度 横山小学校運営協議会名簿（Ⅱ期 2 年目）

※敬称略

		氏名	備考	ｸﾞﾙｰﾌﾟ
1	委員	青山 敏郎	人権擁護委員、元校長	A
2	委員	溝口 玄	竜川ふれあいセンター活動推進委員会委員長、元校長	B
3	委員	内野 永士	竜川連合自治会長	B
4	委員	藤原 東	龍山自治会連合会長	A
5	委員	今場 嘉寿	元横山小 P T A 会長	A
6	委員	長田テツ子	元体育指導員	A
7	委員	田中 綾	R4 P T A 会長代理、元竜川幼 P T A 会長	B
8	委員	太田亜希子	学校支援コーディネーター、保護者代表、元竜川幼 P T A 会長	A
9	委員	棚橋 凌	R8 P T A 会長	B
	ﾌﾞﾗﾞｰ	田中 謙詞	竜川ふれあいセンター所長	
	ﾌﾞﾗﾞｰ	藤澤 典広	浜松市龍山支所長	
	ﾌﾞﾗﾞｰ	坂井 久司	龍山民生委員、児童委員協議会会長	
	ﾌﾞﾗﾞｰ	森下 智子	竜川主任児童委員	
		長坂麻里子	校長	
		鈴木 正委	教頭	
		遠見石範子	教務主任、コミュニティ・スクール担当	A
		沖 みどり	C S ディレクター	
		市川 有佳	学校支援コーディネーター、図書館補助員、理科支援員	
		石原 侑樹	6 年担任、体育主任、生徒指導、教育の情報化推進リーダー	B
		榊原 萌	養護教諭、給食主任	B

令和 8 年度 横山小学校運営協議会 年間開催計画

※会場は、校舎 3 階 多目的教室（C S ルーム）

回	日時	備考
第 1 回	令和 8 年 5 月 1 4 日（木） 14:00～16:00	授業参観
第 2 回	令和 8 年 6 月 2 5 日（木） 9:45～11:45	授業参観、教職員参加
第 3 回	令和 8 年 1 0 月 6 日（火） 14:00～16:00	授業参観
第 4 回	令和 9 年 2 月 2 日（火） 14:00～16:00	学校関係者評価、自己評価

令和8年度 第1回 横山小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年5月14日（木） 14時00分から15時30分まで
- 2 開催場所 横山小学校 3階多目的教室
- 3 出席委員 青山 敏郎、内野 永士、藤原 東、今場 嘉寿、長田 テツ子、
田中 綾、太田 亜希子、棚橋 凌
- 4 欠席委員 溝口 玄
- 5 オブザーバー 田中 謙詞（竜川ふれあいセンター所長）、藤澤 典広（浜松市龍山支所長）、
坂井 久司（龍山民生委員）、森下 智子（竜川主任児童委員）
- 6 学校支援コーディネーター 市川 有佳
- 7 学 校 長坂 麻里子（校長）、鈴木 正委（教頭）、遠見石 範子（CS担当）
沖 みどり（CSディレクター）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 沖 みどり
- 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、青山会長から内野委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）学校運営の基本方針について
- （2）学校評価アンケート項目について
- （3）学校運営協議会の自己目標について
- （4）夢育やらまいか事業（CS加算分）に対する意見書について

12 会議記録

司会の鈴木教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ グランドデザインにそった教育環境のもと、主体的に学ばせていただいていることに感謝している。（太田委員）
- ・ 運動会の後行った、学校公開に来られなかった方が、とても残念がっていた。今後何回か開放してはいただけないだろうか。（田中委員）

- ・ 授業を初めて参観し、小規模校の良いところが見られた。ただ、この規模としてのデメリットも存在するのだと考える。(藤原委員)
 - ・ 教育理念である多様性を求める中、少人数ではなかなか難しい問題であるとする。毎日の授業においても、先生方の対応の大変さを思う。(青山会長)
 - ・ 少人数だからできるきめ細かな授業に、理解しやすい良い環境であると思った。それと同時に、大人数での環境に慣れ、交流を深めながら円滑に中学校へとつないでいくことの大切さを感じた。(田中オブザーバー)
 - ・ タブレットの扱いには賛否両論はあるが、AIに関しては、頼りすぎることなく、主体的に考えながら活用していくことが大切だと思う。また、最近、頻繁に戦争のニュース報道がされているが、人権の視点から授業へとつなげていけないだろうか。(坂井オブザーバー)
- 協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 学校評価アンケート項目について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校評価アンケート項目についての説明があり、書面にて確認した。

(3) 学校運営協議会の自己目標について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき学校運営協議会の自己目標について説明があり、学校運営協議会としての今年度の目標を全委員にて共有した。

(4) 夢育やらまいか事業（CS加算分）に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき夢育やらまいか事業（CS加算分）に対する意見書について説明があり、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

教頭から学校支援活動の在り方について、また、教務主任からは年間行事予定についての報告がそれぞれあった。

また、司会から、次回会議を、令和8年6月25日（木）午前9時45分から、多目的教室にて教職員も参加して開催する旨の報告があった。

熟議 少人数児童での学校行事や学校生活の場面における支援について

1 目的

学校教育目標、目指す子供像を具現化していく上で、少人数児童でも、必要性や児童の思いに応じて、少人数では難しい学校行事や学校生活の場面で、どのような支援が考えられるかアイデアを出し合う。

2 グループによる話し合い

<グループ>

A：(委員) 青山、藤原、今場、長田、太田 (職員) 遠見石

B：(委員) 溝口、内野、田中、棚橋 (職員) 石原、榊原

※ 6年生児童も入り、適宜話し合いに参加する。

※ オブザーバーの方々は、適宜様子を参観する。

(1) **議題1** 光明小2年横山探検において、どのような支援ができるか。【15分】

※ 12/11 (金) 9:40～11:00

○グループごとの発表【5分】

お互いの発表を聞き合い、意見を共有する。必要に応じて、オブザーバーの方々からも、感想や意見をいただく。

(2) **議題2** 学習活動を充実させる活動について、どのような支援ができるか。

【15分】

○グループごとの発表【5分】

お互いの発表を聞き合い、意見を共有する。必要に応じて、オブザーバーの方々からも、感想や意見をいただく。